

平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 クロスカット
 コード番号 2307 URL <http://www.xcat.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 井上 貴功
 (氏名) 三嶋 峰雄

TEL 03-3474-5251

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,848	—	95	—	102	—	87	—
27年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 110百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第1四半期	10.22	—
27年3月期第1四半期	—	—

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第1四半期	4,061	—	2,241	—	55.2
27年3月期	—	—	—	—	—

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 2,241百万円 27年3月期 100百万円

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成27年3月期の数値は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期(累計)	4,500	—	190	—	190	—	100	—
通期	9,500	—	360	—	360	—	200	—
							円銭	
							11.67	
							23.40	

(注) 平成28年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1社 (社名) 株式会社クロスユーアイエス、除外 1社 (社名)
 (注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1)四半期連結累計期間における子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	9,210,960 株	27年3月期	9,210,960 株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	683,494 株	27年3月期	593,494 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	8,605,598 株	27年3月期1Q	8,617,466 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成28年3月期第1四半期より連結決算へ移行しました。
 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、当第1四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期累計期間及び前事業年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による成長戦略や日銀による金融緩和のもとで、景気は緩やかに回復を続けているものの、中国経済を初めとした海外景気の下振れなどによる影響が懸念されております。

当社が属する情報サービス業界は、政府の成長戦略に「I o T」や「ビッグデータ活用」等のIT技術の積極活用が織り込まれ、さらに「マイナンバー制度」の開始も控えて新たな需要が期待されるなか、企業収益の改善を背景に設備投資意欲も高まり堅調に推移しております。

このような状況の中、当社は、新たな中期経営計画「Innovation Fast 2017」を策定し、継承すべき事項と変革すべき事項を明確化し、中核ビジネスであるシステム開発の安定拡大、さらには新サービスの創生と伸長を図り、Nextステージに向かって成長して参ります。

当第1四半期連結累計期間では、金融系の銀行向け案件の堅調な推移、クレジット向け案件の回復及び公共企業系の大型案件が寄与したことにより、売上高は1,848百万円、営業利益95百万円、経常利益102百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益87百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、4,061百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金1,052百万円、受取手形及び売掛金1,418百万円、投資有価証券343百万円であります。

負債につきましては、1,820百万円となりました。その主な内訳は、短期借入金500百万円、買掛金318百万円、退職給付に係る負債342百万円であります。

純資産につきましては、2,241百万円となりました。その主な内訳は、利益剰余金1,800百万円、資本金459百万円であります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は、55.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、当第1四半期より連結決算へ移行いたしました。これに伴い、平成28年3月期の通期連結業績予想を開示しております。詳細につきましては、本日（平成27年8月7日）公表いたしました「連結決算開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、個別業績予想につきましては、現時点において平成27年5月8日付「平成27年3月期決算短信」で開示いたしました業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、株式取得により子会社化した株式会社クロスユーアイエスを連結の範囲に含めております。

なお、当第1四半期連結会計期間の末日をみなし取得日としているため、当第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結としております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成27年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,052,225
受取手形及び売掛金	1,418,016
仕掛品	213,370
繰延税金資産	73,943
その他	30,050
貸倒引当金	△1,260
流動資産合計	2,786,346
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	261,524
減価償却累計額	△168,346
建物及び構築物(純額)	93,178
車両運搬具	8,191
減価償却累計額	△6,149
車両運搬具(純額)	2,041
工具、器具及び備品	138,308
減価償却累計額	△68,636
工具、器具及び備品(純額)	69,671
土地	32,998
有形固定資産合計	197,890
無形固定資産	
のれん	234,713
ソフトウェア	69,490
その他	9,873
無形固定資産合計	314,076
投資その他の資産	
投資有価証券	343,474
敷金及び保証金	279,129
繰延税金資産	55,325
その他	85,349
投資その他の資産合計	763,278
固定資産合計	1,275,246
資産合計	4,061,592

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成27年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	318,920
短期借入金	500,000
未払法人税等	5,244
賞与引当金	125,148
資産除去債務	68,792
その他	418,056
流動負債合計	1,436,162
固定負債	
退職給付に係る負債	342,930
資産除去債務	16,911
長期末払金	21,000
繰延税金負債	3,103
固定負債合計	383,945
負債合計	1,820,107
純資産の部	
株主資本	
資本金	459,237
資本剰余金	61,191
利益剰余金	1,800,400
自己株式	△183,563
株主資本合計	2,137,264
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	74,725
退職給付に係る調整累計額	29,494
その他の包括利益累計額合計	104,220
純資産合計	2,241,484
負債純資産合計	4,061,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,848,436
売上原価	1,445,538
売上総利益	402,897
販売費及び一般管理費	307,245
営業利益	95,652
営業外収益	
受取配当金	4,097
その他	3,334
営業外収益合計	7,431
営業外費用	
支払利息	395
支払手数料	124
営業外費用合計	520
経常利益	102,563
税金等調整前四半期純利益	102,563
法人税、住民税及び事業税	552
法人税等調整額	14,065
法人税等合計	14,618
四半期純利益	87,945
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,945

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)	
当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	
四半期純利益	87,945
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	22,076
退職給付に係る調整額	552
その他の包括利益合計	22,628
四半期包括利益	110,574
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	110,574
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

当社は、当第1四半期累計期間より連結決算に移行しており、前第1四半期連結累計期間の財務諸表がないため、参考資料として前第1四半期累計期間の損益計算書を掲載しております。

要約四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	1,677,896	—
売上原価	1,374,137	—
売上総利益	303,758	—
販売費及び一般管理費	287,012	—
営業利益	16,745	—
営業外収益	18,774	—
営業外費用	373	—
経常利益	35,146	—
税金前四半期純利益	35,146	—
法人税、住民税及び事業税	506	—
法人税等調整額	16,082	—
法人税等合計	16,589	—
四半期純利益	18,557	—

	前第1四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	—	1,848,436
売上原価	—	1,445,538
売上総利益	—	402,897
販売費及び一般管理費	—	307,245
営業利益	—	95,652
営業外収益	—	7,431
営業外費用	—	520
経常利益	—	102,563
税金等調整前四半期純利益	—	102,563
法人税、住民税及び事業税	—	552
法人税等調整額	—	14,065
法人税等合計	—	14,618
四半期純利益	—	87,945
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	—	87,945